

JOA information

日本オリエンテーリング協会からのお知らせ

木村佳司



Japan Orienteering Association

日本オリエンテーリング協会発表の内容からピックアップして掲載します。

<http://www.orienteering.or.jp/>

2013 年世界選手権合同報告会

2013 年世界選手権合同報告会が行われました。

日時：2013 年 9 月 22 日（日）

場所：朝霧野外活動センター

フット0、スキー0、MTB-0、トレイル0の各種目で世界選手権の報告会が開催されました。報告で使用した資料はJOAのwebページに近日中に掲載されます。

公認中日東海大会併設の高校選手権上位者に全日本エリート権を付与する件

第27回全日本高等学校・中学校オリエンテーリング選手権大会において、以下の成績を収めた者は2013年度全日本オリエンテーリング大会（2014年4月27日予定）のM20EまたはW20Eクラスの出場資格を得られることとする。ME（男子高校生選手権クラス）3位以内、WE（女子高校生選手権クラス）3位以内。なお、順位は各クラスのエントリー数の1/2（端数切り上げ）以内の順位までとする。順位以内であっても優勝時間の150%を越えた者は除外する。全日本オリエンテーリング大会のEクラスに出場するためには、（公社）日本オリエンテーリング協会の競技者登録をしなければならない。

世界選手権大会の新フォーマットについて

強化委員会 尾上秀雄

IOF主催で行われる大会は、オリエンテーリングの目指す方向を示し、社会的認知度を高めるためにも重要なものです。その中でも中心となる世界選手権をより魅力的でエキサイティングなものにするために、5年前頃からプロジェクトが発足し、IOFの理事会・委員会はもちろん、選手・コーチ、各国の加盟組織などからの意見や議論を踏まえて新フォーマットの案作りが進められてきました。

新フォーマット作成の過程では、

- ・従来の8日間という期間を守ること
 - ・TV放映を考慮してすべての日をメダルイベントにすること
 - ・男女混合競技を作ること
- などが重要視されました。

まずミドル、ロング競技の予選を無くして決勝のみにするという変更が決定されました。次にそれに伴い、決勝に出られる選手の枠をどのように割り当てるかという点が議論となり、各案に対し過去のデータを使つてのシミュレーションによる検討が繰り返されました。

ここでは主として

- ・各国の強さのバランスが適切に反映されること
 - ・中堅・途上国の発展を促進する方向であること
 - ・各国最低1名の出場枠を保証
 - ・出場枠を固定化しない
 - ・各国の次点以下の選手の可能性・動機付け
 - ・リレーの出場国数を減らさない
- などが重要視されました。その結果、従来は45名が出場していたミドル、ロング競技の決勝が、70~80名の選手が出場するものになりました。

そして最終的にIOFの理事会で決定された内容が、今年7月のフィンランドでの世界選手権の時に各国に紹介されました。

選手みなさんはこれを機に新たな目標設定をして挑戦してください。その他のオリエンティアみなさんは、

ますますエキサイティングになる大会をお楽しみに、またそこで活躍する日本選手にご期待ください。

新しい世界選手権の形式(抜粋)

- スプリント予選/決勝(従来通り)
- スプリント混合リレー
- ミドル決勝(予選なし)
- ロング決勝(予選なし)
- リレー決勝(従来通り)

オリエンテーリングディレクターの皆様へ

平成25年度の指導者登録については、2月より登録証および認定証の送付を行っております。ディレクターの資格更新には、4年に1度の資格更新審査があります。対象となる方には昨年6月および12月にお知らせしておりますが、登録料を納入しただけで資格更新審査申請書を提出していない方が多くみられます。このままでは認定することもできず、25年度の登録をすることもできません。なるべく早く提出していただければ幸いです。

パーマネントコース京都府内2コースの廃止について

廃止公認 No. 110

南山城少年自然の家コース
南山城少年自然の家廃止のため

廃止公認 No. 642

夜久野高原宝山コース
コース内の遊歩道等が歩行困難のため

(記事：木村佳司)